

環境基本計画調査票

[illegible]

環境基本計画調査票

基本方針 施策の方向性 施策	施策の内容	掲載 ページ	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		中間改定に向けた検討 2025年度～2030年度の具体的な予定事業									
			今年度取組実績	今年度取組実績	今年度取組実績	今年度取組実績	取組の総括 (成果・課題等)	契約終了（2030年度） までの方向性	具体的な予定事業 2025年度	具体的な予定事業 2026年度	具体的な予定事業 2027年度	具体的な予定事業 2028年度	具体的な予定事業 2029年度	具体的な予定事業 2030年度	今後の方向性					
	自然ガイドボランティアや観光事業者などと連携して、エコツーリズムの仕組みづくりを検討 様々な手法（ホームページ、SNS、紙媒体など）を活用して、自然観光資源の魅力を発信	41	商工観光課	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	2012年以来、浮遊粒子状物質（SPM）は緩やかな減少傾向にあり、環境基準を満足する良好な値となっている。	大気汚染については県の管轄であり、県による常時監視を継続する。	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	継続		
	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会HP及びインスタグラムでの情報発信（岩屋堂公園・定光寺公園の桜、新緑、紅葉情報等）	41	商工観光課	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会HP及びインスタグラムでの情報発信（岩屋堂公園・定光寺公園の桜、新緑、紅葉情報等）	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会HP及びインスタグラムでの情報発信（岩屋堂公園・定光寺公園の桜、新緑、紅葉情報等）	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会HP及びインスタグラムでの情報発信（岩屋堂公園・定光寺公園の桜、新緑、紅葉情報等）	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会HP及びインスタグラムでの情報発信（岩屋堂公園・定光寺公園の桜、新緑、紅葉情報等）	西季の自然を主にインスタグラムを用いて発信を行った。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
基本方針2 瀬戸の「くらし」																				
2-1 公害対策の推進																				
2-1-1 大気汚染防止対策の推進																				
	県と連携しながら、大気汚染防止のため、監視・指導を実施	43	環境課（環境保全係）	県の自動車排出ガス測定局での常時監視	県の自動車排出ガス測定局での常時監視	県の自動車排出ガス測定局での常時監視	県の自動車排出ガス測定局での常時監視	2012年以来、浮遊粒子状物質（SPM）は緩やかな減少傾向にあり、環境基準を満足する良好な値となっている。	大気汚染については県の管轄であり、県による常時監視を継続する。	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	・県の自動車排出ガス測定局での常時監視	継続		
2-1-2 水質汚濁・土壌汚染防止対策の推進																				
	県と連携しながら、河川・地下水の水質汚濁や土壌汚染の防止のため、監視・指導		環境課（環境保全係）	瀬理研による水生生物調査の実施	瀬理研による水生生物調査の実施	瀬理研による水生生物調査の実施	瀬理研による水生生物調査の実施	（再掲）魚類：27種類、水生昆虫：43種類を毎年、夏に継続して調査をしている。生物指標、汚濁指数、SS、BOD、Clなどの結果を掲載している。	（再掲）50年以上続いている調査であり、市の水生生物の年毎の変動を知ることができるため、今後も継続する。調査結果を積極的に公表していきたい。	・瀬理研による水生生物調査の実施	・瀬理研による水生生物調査の実施	・瀬理研による水生生物調査の実施	・瀬理研による水生生物調査の実施	・瀬理研による水生生物調査の実施	・瀬理研による水生生物調査の実施	・瀬理研による水生生物調査の実施	・瀬理研による水生生物調査の実施	（再掲）長年にわたって継続している調査であり、調査結果を積極的に公表していく。		
		43	環境課（環境保全係）	公共用水域水質調査の実施	公共用水域水質調査の実施	公共用水域水質調査の実施	公共用水域水質調査の実施	（再掲）毎年、業務委託で調査を行い、調査結果は年次報告書にて公表している。市内河川47地点を調査し、全地点において一般項目・生活環境項目・その他項目、主要な河川においては健康項目を追加で調査している。	（再掲）必要に応じて調査地点を加除し、引き続き調査を行う。	・公共用水域水質調査の実施	・公共用水域水質調査の実施	・公共用水域水質調査の実施	・公共用水域水質調査の実施	・公共用水域水質調査の実施	・公共用水域水質調査の実施	・公共用水域水質調査の実施	・公共用水域水質調査の実施	継続		
2-1-3 感覚公害の未然防止の推進																				
	騒音・振動・悪臭等の感覚公害については、事業者との環境保全協定の締結を積極的に行う	43	環境課（環境保全係）	工業団地内企業との環境保全協定の締結	工業団地内企業との環境保全協定の締結	工業団地内企業との環境保全協定の締結	工業団地内企業との環境保全協定の締結	企業団地の43企業と協定を締結している。水質、大気、騒音、振動、土壌汚染、悪臭などにおいて基準を設けており、各数値について毎月報告を受ける。	新たな企業が設立したときは、協定締結を働きかける。市との協定のほか、公害防止他の認定制度を研究し、様々な手法による公害防止方法を検討したい。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	市との協定のほか、公害防止他の認定制度を研究し、様々な手法による公害防止方法を検討したい。		
	公害苦情に対しては、適切に処理する	43	環境課（環境保全係）	公害苦情処理の遂行	公害苦情処理の遂行	公害苦情処理の遂行	公害苦情処理の遂行	公害苦情のうち、悪臭苦情のついては、悪臭防止法に基づく臭気測定の実施とそれに伴う指導を行っている。	引き続き、公害苦情処理を遂行する。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	引き続き、公害苦情処理を遂行する。		
2-2 資源循環型まちづくりの推進																				
2-2-1 3Rの推進																				
	食品ロスの削減とミックスペーパーの分別によるごみの減量化	43	環境課（ごみ減量係）	・ミックスペーパー分別チラシの作成	・ごみ減量化容器等購入補助金の再開 ・せと環境塾にてエコクッキングの開催	・シュレッダーごみを資源物として収集開始 ・せと環境塾にてエコクッキングの開催	・資源物臨時拠点収集の開始 ・せと環境塾にてエコクッキングの開催	令和4年度はミックスペーパー収集開始以降、一定の収集量を確保し、ごみ減量の要因となっている。												
	ごみ処理に係る費用負担の適正化を図る	43	環境課（ごみ減量係）	取組なし	取組なし	取組なし	取組なし	一般廃棄物処理費用有料化により、市民のごみ減量意識や分別意識の啓発された結果、総ごみ量については令和6年度実績で目標の54%を達成した。	市場価格で流通している資源物袋は、燃えるごみ指定袋の価格と比べて高額になっており市民の分別意識を阻害する要因となっているため、資源物袋の条例化について検討を進める。									家庭系ごみ中には資源物が混入しており、さらなる分別を啓発し、目標となる総ごみ量の達成を目指す。		
	道の駅瀬戸しなのなどの施設から発する食品残渣のたい肥化、農家への集荷配付、食品スーパーなど事業者との連携の仕組みづくりなど、リデュース（発生抑制）、リユース（再活用）を優先的に推進	43	環境課（ごみ減量係）	取組なし	取組なし	取組なし	取組なし	「おいくら」との不要品リユース事業開始 ・フードドライブポストの設置												
	建設リサイクル法に基づく、公共事業における資材の再資源化の実施など、リサイクル（再生利用）を推進	43	政策推進課、都市整備部、教育政策課	建設リサイクル法に基づき、リサイクルを実施	建設リサイクル法に基づき、リサイクルを実施	建設リサイクル法に基づき、リサイクルを実施	建設リサイクル法に基づき、リサイクルを実施	建設リサイクル法に基づき、リサイクルを実施	建設リサイクル法に基づき、リサイクルを実施	引き続き、建設リサイクル法に基づき、リサイクルを実施する。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	引き続き、建設リサイクル法に基づき、リサイクルを実施		
2-2-2 ごみの適正処理の推進																				
	ごみ分別など「ごみ出しルール」の周知徹底を図る	43	環境課（ごみ減量係）	地域の衛生委員委嘱式にてごみの出し方等について周知	・ごみ減量化容器等購入補助金の再開 ・地域の衛生委員委嘱式にてごみの出し方等について周知	・一般廃棄物処理基本計画の策定 ・地域の衛生委員委嘱式にてごみの出し方等について周知	・「令和7年度ごみ・資源物の出し方」作成 ・地域の衛生委員委嘱式にてごみの出し方等について周知													
			環境課（ごみ減量係）	・発火性危険物の分別収集開始 ・ペットボトル水平リサイクル事業の協定締結	・プラスチック製容器包装の分別収集開始 ・ペットボトル水平リサイクル事業の協定締結	・一般廃棄物処理費用有料化の開始 ・資源品目の追加（剪定枝、羽毛布団）														
	中間処理、最終処分については、関係機関と連携しながら、適切な処理を促進	43	環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定			
	野焼きなど不法焼却に関する監視・指導を強化	43	環境課（環境保全係）	年間苦情件数（19件）	年間苦情件数（19件）	年間苦情件数（17件）	年間苦情件数（12件）	野焼きによる苦情は年々緩やかに減少しているものの、農薬に伴う野焼きについては、苦情主の主張と農業者の主張が折り合わず解決に至らない事例がある。	今後も警察・消防との連携を図り、同一人物による野焼きが繰り返されることのないよう指導する。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	今後も警察・消防との連携を図り、同一人物による野焼きが繰り返されることのないよう指導する。		
2-2-3 産業廃棄物、不法投棄対策の推進																				
	産業廃棄物については、「瀬戸市産業廃棄物処理施設」の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例、や「産業廃棄物等関連施設環境保全対策書作成指針」に基づき、市民と事業者相互の合意形成のもとで、適正不法投棄対策については、引き続き監視・指導体制（監視カメラの設置、パトロールなど）を強化	44	環境課（環境保全係）	条例に基づき適正に処理	条例に基づき適正に処理	条例に基づき適正に処理	条例に基づき適正に処理	条例に基づき適正に処理	条例に基づき適正に処理する。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	条例に基づき適正に処理する。		
		44	環境課（ごみ減量係）	取組なし	取組なし	取組なし	取組なし	取組なし												
2-3 まちの環境の保全・創出																				
2-3-1 まちの環境美の推進																				
	「瀬戸市ボイ捨て及びふん害の防止に関する条例」に基づき、市民等とともに環境美化意識やマナーなどの向上を図る	44	環境課（衛生係）	（ふん害）啓発用看板、チラシの提供により、住民の意識、マナーの向上を図る。	（ふん害）啓発用看板、チラシの提供により、住民の意識、マナーの向上を図る。	（ふん害）啓発用看板、チラシの提供により、住民の意識、マナーの向上を図る。	（ふん害）啓発用看板、チラシの提供により、住民の意識、マナーの向上を図る。													
			環境課（ごみ減量係）	取組なし	取組なし	取組なし	取組なし													
	地域や事業者などによる清掃美化活動を支援 低炭素環境の充実に係る取組として、市民や事業者と連携、協働し「環境美化事業」（環境美化イベント、ボランティア清掃袋の配布、地域清掃への収益）を実施	44	環境課（ごみ減量係）	地域清掃活動のごみ回収、清掃袋配布	地域清掃活動のごみ回収、清掃袋配布	地域清掃活動のごみ回収、清掃袋配布	地域清掃活動のごみ回収、清掃袋配布													
		44	環境課（ごみ減量係）	地域清掃活動のごみ回収、清掃袋配布	地域清掃活動のごみ回収、清掃袋配布	地域清掃活動のごみ回収、清掃袋配布	地域清掃活動のごみ回収、清掃袋配布													
2-3-2 民有地緑化の推進																				
	民有地緑化助成事業（生けかき設置奨励補助金）、花のまちづくり事業（緑化推進奨励補助金）23件、緑の街並み推進事業（都市緑化推進事業補助金）6件	44	建設課	花のまちづくり事業（緑化推進奨励補助金）23件 緑の街並み推進事業（都市緑化推進事業補助金）6件	花のまちづくり事業（緑化推進奨励補助金）22件 緑の街並み推進事業（都市緑化推進事業補助金）7件	花のまちづくり事業（緑化推進奨励補助金）20件 緑の街並み推進事業（都市緑化推進事業補助金）4件	花のまちづくり事業（緑化推進奨励補助金）18件 緑の街並み推進事業（都市緑化推進事業補助金）3件	花のまちづくり事業で商店街など民有地の緑化により街並み環境の保全、創出をすることができた。 緑の街並み推進事業について、個人等との間接的な効果に留まる面があった。また、民有地緑化助成事業、花のまちづくり事業については、財源である瀬戸市緑化推進基金の枯渇が見込まれたため令和6年度をもって廃止となった。	民有地緑化を推進するために、多くの市民の方に緑化に興味を持っていただき、実践する機会を提供していく。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①緑の街並み推進事業（春・秋） ②ガーデニング講習会（春・秋） ③ガーデニング講習会を実施。 緑の街並み推進事業は2025年度をもって終了。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たなダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たなダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たなダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たなダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たなダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たなダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たなダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。			
	空き家及び空き地の適正管理の促進	44	都市計画課																	
2-4 低炭素社会の実現に向けた取組の推進																				
2-4-1 買い物選択（COOL CHOICE）の展開																				
	県の補助制度などを活用（情報提供など）したエコカーへの買い替えなど、低炭素製品の普及を促す	45	商工観光課			中小企業を対象とした瀬戸市省エネ促進事業補助金の実施	・中小企業を対象とした瀬戸市省エネ促進事業補助金の実施 ・中小企業を対象とした瀬戸市事業用電気自動車等導入補助金の実施 「瀬戸市グリーン購入調達方針」に準じた物品の調達、役務の契約等を行うよう、毎月、各課・工芸エネルギー使用量を照会する際、グリーン購入の推進を呼びかけている。	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金により行われた事業である												
	外出や通勤時における公共交通機関の活用を促す。カーシェアリングなどの低炭素サービスへの選択や、エアコンのこまめな温度設定、クールビズ、エコドライブなどの低炭素なライフスタイルへの転換といった「COOL CHOICE運動」を推進	45	環境課（環境保全係）	2017年度に「瀬戸市グリーン購入調達方針」を策定し、市内のグリーン購入の推進を図っている。	2017年度に「瀬戸市グリーン購入調達方針」に準じた物品の調達、役務の契約等を行うよう、毎月、各課・工芸エネルギー使用量を照会する際、グリーン購入の推進を呼びかけている。	「瀬戸市グリーン購入調達方針」に準じた物品の調達、役務の契約等を行うよう、毎月、各課・工芸エネルギー使用量を照会する際、グリーン購入の推進を呼びかけている。	「瀬戸市グリーン購入調達方針」に準じた物品の調達、役務の契約等を行うよう、毎月、各課・工芸エネルギー使用量を照会する際、グリーン購入の推進を呼びかけている。	2017年度に「瀬戸市グリーン購入調達方針」を策定し、令和6年度に策定した「第4次エコオフィスプラン」の中においても、グリーン購入・環境配慮契約に取り組みよう推進している。	愛知県の事業である「脱炭素エキデン度」を策定し、令和6年度に策定した「第4次エコオフィスプラン」において、広報せとで周知した。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	今後も県の事業に乗りて、国、県との連携をしながら、熱中症の発生の予防を強化する仕組みを引き続き整備する。		
2-4-2 温室効果ガスの排出削減																				
	「第3次エコオフィスプランせと（瀬戸市地球温暖化防止実行計画）」に基づき、市における全庁的な環境配慮行動を推進	45	環境課（環境保全係）	実績なし	地方公共団体実行計画（事務事業編）「第4次エコオフィスせと」策定			毎月、職員の省エネルギー行動を促進するよう呼びかける。	引き続き、職員の省エネルギー行動を促進するよう呼びかける。											
			教育政策課	市民公園AテニスコートLED化	瀬戸市体育館照明設備LED化	・瀬戸市南公園グラウンド照明設備のLED化 ・のぞみ学園照明LED化	・市民公園野球場照明LED化 ・バスターと市民交流センター（5階）照明LED化 ・文化センター（街灯）LED化	市内のスポーツ施設のLED化を行った。	令和8年から令和10年にかけて公共施設照明設備をLED方式によりLED化する。											
	市民、事業者も含め市全体の取組に向けた「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定を検討	45	環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	・地方公共団体実行計画（区域施策編）策定 ・「2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ」を目指し、「Eco-Action」宣言	実績なし		温室効果ガスの排出量低減や再生可能エネルギーを取り入れるよう関係部署と連携する。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定			
2-4-3 気候変動の影響に対する適応策の推進																				
	熱中症防止のための情報提供やクールビズなどの普及を推進	45	環境課（環境保全係）	公所における「緑のカーテン」実施（191配布）	公所における「緑のカーテン」実施（191配布）	公所における「緑のカーテン」実施（131配布）	公所における「緑のカーテン」実施（131配布）	CO2削減及び夏場の省エネ・節電対策啓発の一環として保育園、小学校、公所に配布を行っている。	申込数が減少傾向にある。CO2削減及び夏場の省エネ・節電対策啓発としての位置づけがあることを子ども達に伝えていく。	・公所における「緑のカーテン」実施	・公所における「緑のカーテン」実施	・公所における「緑のカーテン」実施	・公所における「緑のカーテン」実施	・公所における「緑のカーテン」実施	・公所における「緑のカーテン」実施	・公所における「緑のカーテン」実施	・公所における「緑のカーテン」実施	CO2削減及び夏場の省エネ・節電対策啓発としての位置づけであることを子ども達に伝えていく。夏の動向をみながら、熱中症の発生の予防を強化する仕組みを引き続き整備する。		
			環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	「瀬戸市熱中症対策行動指針」及び「熱中症特別警戒アラート」伝達体制の整備	・「瀬戸市熱中症対策行動指針」の運用開始 ・市民クーリングシェルの運用開始	クーリングシェルスは、公共施設：17、民間施設：24が登録しており、広報やインスタで周知している。		未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定			
	県で策定された「愛知県気候変動適応計画」を参考にしながら、「地域気候変動適応計画」の策定を検討	45	環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	国、県の動向をみながら、熱中症の発生の予防を強化する仕組みを引き続き整備する。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	国、県の動向をみながら、「地域気候変動適応計画」の策定を検討を続ける。		
2-4-4 再生可能エネルギーの活用促進																				

環境基本計画調査票

資料3-2

基本方針 施策の方向性 施策	施策の内容	掲載 ページ	担当課	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	中間改定に向けた検討									
				今年度取組実績	今年度取組実績	今年度取組実績	今年度取組実績	2025年度～2030年度の具体的な予定事業						今後の方向性			
								取組の総括 (成果・課題等)	契約終了（2030年度） までの方向性	具体的な予定事業 2025年度	具体的な予定事業 2026年度	具体的な予定事業 2027年度	具体的な予定事業 2028年度		具体的な予定事業 2029年度	具体的な予定事業 2030年度	
	「瀬戸市自然環境等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例」に基づき、太陽光発電設備と自然環境との調和に取り込む	46	環境課（環境保全係）	条例に基づき適正に処理	条例に基づき適正に処理	条例に基づき適正に処理	条例に基づき適正に処理	条例に基づき適正に処理	条例に基づき適正に処理する。	条例に基づき適正に処理する。	条例に基づき適正に処理する。	条例に基づき適正に処理する。	条例に基づき適正に処理する。	条例に基づき適正に処理する。	条例に基づき適正に処理する。	ニーズを把握し、ニーズに合ったものを企画の対象としていく。	
	「住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金」の継続的な実施や新規の補助制度などの支援策を構築	46	環境課（環境保全係）	住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金の実施（63件）	住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金の実施（65件）	住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の実施（61件）	住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の実施（64件）	令和5年度から補助の対象を太陽光パネルから蓄電池、断熱窓などにし、時代に合わせた内容とした。 また、断熱窓という比較的年費で取り組みやすいものを補助の対象とし、幅広い市民に申請してもらえるようにした。	補助金の申請状況、社会情勢やニーズを把握し、毎年、補助対象が妥当であるか、ニーズに合ったものを補助の対象としていく。	・住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の実施	・住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の実施	・住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の実施	・住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の実施	・住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の実施	・住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の実施	ニーズを把握し、ニーズに合ったものを企画の対象としていく。	
	大学などの学術・研究機関や事業者と連携しながら、研究開発や市民向け講座などを実施	46	環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	せと環境塾にてかきコトコトに関する講義、ZEBの見学	せと環境塾にて省エネに取り組む企業の工場見学の開催	工場見学の前にかきコトコト号、瀬戸市地球温暖化対策実行計画を説明し、市だけでなく市民・企業ともに取り組んでいく必要があることを伝えた。	今後、企業のかきコトコト号に対する意識は高まると見込まれ、企業の取組を知ってもらうことは企業としての付加価値を上げるものとなり、講座の参加者も環境意識を高めるものがあるため、事業を継続していく。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	様々な企業と連携をとることで、企業ごとには異なった取組を学ぶことができる。そこで得た知識を企業に還元することによって市全体で計画の目標である2013年度比50％削減を達成していく。	
	2-4-5 省エネルギーの促進																
	市民・地域・事業者の省エネ行動（省エネ家電への買い替え、照明のLED化など）を促進	46	環境課（環境保全係） コミュニティ推進課	実績なし 瀬戸市LED防犯灯設置費補助金の交付	実績なし 瀬戸市LED防犯灯設置費補助金の交付	実績なし 瀬戸市LED防犯灯設置費補助金の交付	実績なし 瀬戸市LED防犯灯設置費補助金の交付	蛍光灯の製造と輸出入が廃止になることに伴い、これを契機にLED照明に取り換えるホームページで周知した。 自治会所有の防犯灯についてもLED化を図ることで電気料金削減につながる。	未定 市内防犯灯のLED化率は80.3％となり、今後もLED化を進める。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	市内防犯灯のLED化率100％を目指し、LED防犯灯の設置費補助を行う。
	住宅・事務所などの省エネルギー化（断熱施工、省エネ性能の高い設備の導入、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の普及など）を促進	46	環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	広報、ホームページ等で周知啓発を行い促進する必要がある。	LED、省エネ家電を選択する。断熱省エネ住宅に住むなど脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを作る国民運動（デコ活）の機運を盛り上げていく。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	LED、省エネ家電を選択する。断熱省エネ住宅に住むなど脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを作る国民運動（デコ活）の機運を盛り上げていく。
	基本方針3 瀬戸の“ひとびと”																
	3-1 多様な主体の連携・協働																
	3-1-1 多様な主体の連携・協働の強化																
	パートナーシップ型組織（市民、事業者）と市の2者連携による活動をさらに強化するとともに、市民・事業者・市の3者連携を図るなど、連携を強化	48	環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	パートナーシップ型組織「サステナブルせと」の設立	せとまるっと・環境クラブによるアカツガキの保全	（再掲）せとせとまるっと・環境クラブと市内企業と共同で行っている事業であり、サステナブルせとの機能が具象化した事例である。	（再掲）アカツガキ保全は、今後も引き続き行い、経過観察する。企業数地内における麻桶の整備を今後どう行っていくかが課題として挙げられている。そのほか、協働事業が多く取り組まれるよう支援する。	アカツガキの保全	アカツガキの保全	未定	未定	未定	未定	未定	（再掲）アカツガキのほか、企業数地内における麻桶の整備を今後どう行っていくかが課題として挙げられている。こうした協働事業が多く取り組まれるよう支援する。
	大学などの学術・研究機関との連携を図り、市民・事業者とも合わせた4者による連携・協働を推進	48	環境課（環境保全係）	・名古屋産業大学と協働し、特定地区の保全・啓発 ・プロジェクションマッピング作成	・名古屋産業大学と協働し、「マイビオあいち」の制作 ・愛知工業大学と協働し、丘陵地の生物調査の実施	愛知工業大学と「かきコトコト」への参画としてアカツガキ調査・訪問調査の実施	愛知工業大学と協働し、川の生物調査の開催	毎年、大学と様々な企画で、学生だけでなく住民とも連携・協働している。学生は異なるバックグラウンドや視点を持ち込むため、行政だけでは見えにくい問題点や新しいアイデアを提供してくれるため、引き続き連携を図っていく。	（再掲）自治会の参加数にも増加しており、市はトンゴの貸し出しやごみ袋の提供により支援を行ってきた。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	（再掲）実際の駆除活動と並行して、看板、のほりを用いた啓発活動も進めている。	
3-1-2 地域の自発的な取組の支援																	
	地元自治会などと連携しながら、地域の自発的な環境への取組を促す仕組みを検討	48	環境課（環境保全係） 環境課（ごみ減量係） 環境課（衛生係）	・各種団体、地域住民による蛇ヶ川清掃活動 ・瀬戸市環境衛生審議会の開催（計3回） ・ごみ減量推進会議の開催（計7回）	・各種団体、地域住民による蛇ヶ川清掃活動 ・瀬戸市環境衛生審議会の開催（計3回） ・ごみ減量推進会議の開催（計11回）	・各種団体、地域住民による蛇ヶ川清掃活動 ・瀬戸市環境衛生審議会の開催（計4回） ・ごみ減量推進会議の開催（計10回） ※満期において、自治会（9連区）、職員有志によるオオキンケイギクの駆除活動を実施	・各種団体、地域住民による蛇ヶ川清掃活動 ・瀬戸市環境衛生審議会の開催（計2回） ・ごみ減量推進会議の開催（計6回） ※満期において、自治会（9連区）、職員有志によるオオキンケイギクの駆除活動を実施	（再掲）自治会の参加数にも増加しており、市はトンゴの貸し出しやごみ袋の提供により支援を行ってきた。	（再掲）地域の活動であり、地域力を高めるものでもあることから、市も可能な限り支援・協働していく。実際の駆除活動と並行して、看板、のほりを用いた啓発活動も進めている。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	（再掲）実際の駆除活動と並行して、看板、のほりを用いた啓発活動も進めている。	
	3-2 グリーンな経済システムの構築																
	3-2-1 地域資源を活用した環境ビジネスの支援																
	事業者などと連携し、地元の環境資源を活用したブランド商品の開発を支援	48	商工観光課 農林課	実績なし 実績なし	実績なし 実績なし	実績なし 実績なし	実績なし 実績なし	道の駅瀬戸しなのの食堂で提供する地元の農畜産物を活用した新商品の開発	道の駅での販売を継続していく。	未定 道の駅での販売を継続していく。	未定 道の駅での販売を継続していく。	未定 道の駅での販売を継続していく。	未定 道の駅での販売を継続していく。	未定 道の駅での販売を継続していく。	未定 道の駅での販売を継続していく。	未定 道の駅での販売を継続していく。	
	事業者のパートナーシップ型組織と連携し、環境ビジネスに特化したセミナーなどの開催にむけた体制、仕組みづくりを行う	48	環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	環境ビジネスに特化したセミナーなどの開催にむけた体制、仕組みづくりができなかった。	サステナブルせとを活用し、今後取り組んでいく。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	サステナブルせとを活用し、今後取り組んでいく。	
3-2-2 事業者の環境情報の発信の促進																	
	「瀬戸市環境の保全及び創造に関する協定」締結事業所の事業活動や環境情報の公表など、市内の事業者自らがESG投資の投資先となるための情報発信などを促進	48	環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	市内の事業者自らがESG投資の投資先となるための情報発信などできなかった。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定		
3-3 市民・事業者の環境意識の向上																	
3-3-1 環境教育・環境意識の推進																	
	「せと環境塾」による環境講座（フィールドワーク、座学、オンライン講座など）を定期的に実施	49	環境課（環境保全係）	せと環境塾の開催（4講座 54名）	せと環境塾の実施（7講座 184名）	せと環境塾の実施（4講座 23名）	せと環境塾の実施（9講座 243名）	講座によって応募数にばらつきがある。講座後に行うアンケートによると、講座に対する満足度は高い。	単に講座回数、参加者数を追うだけでなく、講座を受講して環境に対する認識が変わり、行動に移していく過程が重要であるため、アンケート項目を工夫し、新たな指標を設ける。講座の目的を受講者が環境意識を高め、学びを通じて具体的な行動変容を促進することとし、受講前後で、知識や理解が深まった結果、環境意識にどのような変化があったかを振り返るような内容にする。	・せと環境塾の実施 ・アンケート結果の活用	・せと環境塾の実施 ・アンケート結果の活用	・せと環境塾の実施 ・アンケート結果の活用	・せと環境塾の実施 ・アンケート結果の活用	・せと環境塾の実施 ・アンケート結果の活用	・せと環境塾の実施 ・アンケート結果の活用	講座の目的を受講者が環境意識を高め、学びを通じて具体的な行動変容を促進することとし、受講前後で、知識や理解が深まった結果、環境意識にどのような変化があったかを振り返るような内容にする。	
	自然ガイドボランティアの育成・支援を充実	49	環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	自然ガイドボランティアの育成・支援を充実できなかった。	予定なし。	未定	未定	未定	未定	未定	未定		
	大学や事業者などの学術・研究機関など、多様な主体との連携・協働による環境講座の実施	49	環境課（環境保全係）	せと環境塾認定講座の開催 あいち海上の森センター（5回 50名） 海上の森の会（14回 303名） 狭投の森づくりの会（21回 150名） シデコブシの会 9回 169名	せと環境塾認定講座の開催 あいち海上の森センター（5回 50名） 海上の森の会（14回 303名） 狭投の森づくりの会（21回 150名） シデコブシの会 9回 169名	せと環境塾認定講座の開催 海上の森の会（21回 386名） 狭投の森づくりの会（12回 185名） シデコブシの会（9回 124名）	せと環境塾認定講座の開催 海上の森の会（33回 540名） 狭投の森づくりの会（19回 246名） シデコブシの会（8回 170名）	市は広報活動をし、大学や事業者などの学術・研究機関が主体となる活動を継続していく。市民団体と情報交換をし、参加者数やリピート率アップにつながる工夫を共有し、ともにさらに魅力ある講座を増やしていく。	・せと環境塾認定講座の開催	・せと環境塾認定講座の開催	・せと環境塾認定講座の開催	・せと環境塾認定講座の開催	・せと環境塾認定講座の開催	・せと環境塾認定講座の開催	・せと環境塾認定講座の開催	・せと環境塾認定講座の開催	市民団体と情報交換をし、参加者数やリピート率アップにつながる工夫を共有し、ともにさらに魅力ある講座を増やしていく。
	小中学校などの教育現場での環境に関する内容を取り入れた授業カリキュラムを充実	49	環境課（環境保全係）	実績なし	・出前講座の実施（3回） ・校内放送用音声ツールの作成	・出前講座の実施（7回） ・校内放送用音声ツールの作成	・出前講座の実施（1回） ・校内放送用音声ツールの作成	出前授業に加え、瀬戸市の川の生き物紹介動画、魚・水生生物の見分け方シートなど既存の財産を公開した。また、魚・水生生物の見分けシートを作成し、小学校に配布し、HPで公開した。また、魚・水生生物の見分けシートを作成し、水生生物調査や出前授業などで活用した。	瀬戸市の川の生き物紹介動画、魚・水生生物の見分け方シートなど既存の財産を使用し、遊び感覚で環境問題について学習してもらう。早い段階から環境意識を高め、将来のリーダーや社会の担い手となる人材を形成にもつながるため、魅力ある内容を考えていく。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	早い段階から環境問題について学ぶことで、子どもたちの環境意識を高め、将来のリーダーや社会の担い手となる人材を形成にもつながるため、魅力ある内容を考えていく。	
3-3-2 環境情報の共有・発信																	
	様々な手段（ホームページ、SNS、紙媒体など）を活用して情報発信の充実を図る	49	環境課（環境保全係）	・公式Instagramの運用開始 ・オンラインシステムを利用した講座の実施	・Instagramへの定期的な投稿 ・せと環境塾Web講座の配信	・Instagramへの定期的な投稿 ・せと環境塾Web講座の配信	・Instagramへの定期的な投稿 ・せと環境塾Web講座の配信	従前のfacebookからInstagramへ移行し、リール動画を投稿するなど若者に魅力を感じてもらえるよう工夫している。また、コロナを契機に始めたWeb講座もいつでもどこでも学べるツールとしての役割を果たしている。	時代に即した媒体を使って情報発信をすることで、若い世代を中心に環境意識を高めるよう努める。SNSや動画プラットフォームを活用して、環境問題に関する魅力的なコンテンツを制作し、共有していく。そして、環境に関心のある若者同士が情報を交換したり、意見を共有したりする場を提供する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	SNSや動画プラットフォームを活用して、環境問題に関する魅力的なコンテンツを制作し共有していく。そして、環境に関心のある若者同士が情報を交換したり、意見を共有したりする場を提供する。	
	自然観光資源の魅力の紹介や、市民・事業者の環境への取組などの情報発信	49	商工観光課	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会HP及びInstagramでの情報発信（岩屋堂公園・定光寺公園の桜、新緑、紅葉情報等）	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会HP及びInstagramでの情報発信（岩屋堂公園・定光寺公園の桜、新緑、紅葉情報等）	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会HP及びInstagramでの情報発信（岩屋堂公園・定光寺公園の桜、新緑、紅葉情報等）	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会HP及びInstagramでの情報発信（岩屋堂公園・定光寺公園の桜、新緑、紅葉情報等）	四季の自然を主にInstagramを用いて発信を行った。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
	自然ガイドボランティア情報のデータベース化	49	商工観光課	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定		
3-3-3 環境イベントの開催																	
	市民の環境に対する意識向上のためのイベント（環境フェアなど）の開催（環境活動団体や事業者などの環境に関する取組の紹介など）を実施	49	環境課（環境保全係）	公式Instagramのキャンペーン実施	実績なし	実績なし	実績なし	主催イベントを開催することはなかった。	連携イベントや共催イベント実施時に実施したい。	未定	未定	未定	未定	未定	未定		
	環境基本計画の市民の認知度を上げるためのPRを行う	49	環境課（環境保全係）	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	PRはできなかった。	PRできる手法を検討したい。	未定	未定	未定	未定	未定	未定		